

杉戸町今昔拾遺録

温古知新
杉戸の
歴史を
こぼれ話
第10回

「文様の象徴性と物語性 ジョウモン インターアクション」

前回、縄文土器の文様について、「物語」のようなのだとお伝えしました。さらに掘り下げてみると、この「物語」は「象徴（シンボル）」という言葉に置き換えることができるかもしれません。では、象徴とは何でしょうか？ 縄文土器の文様は、文字を持たなかった縄文人が、自分たちを取り巻く世界観を記号化し、視覚的に表現したものと考えられます。具体的には、この文様は次のような自然のはたらきを象徴しているのではないのでしょうか。

地 山、原、土、砂など、大地のささやき。
水 雨、川、湖、海などのうねりやせせらぎ。
風 吐息、大気、微風、台風などの動きやざわめき。
火 太陽、焚き火による光と影のゆらめき。
生命 森、樹木、花、草、動物が発する生命のかがやき。

これらの自然現象は、縄文人にとって単なる物理的な現象ではなく、超自然的な力として敬意を払われていた可能性があります。文字に代わる雄弁な表現として、土器の文様は彼らの物語を奏で、これを視覚的に共有する重要な手段だったはずで、さらに、縄文時代は、精霊や靈魂という概念が明確に認識される以前の時代と考えられます。しかし、彼らがあらゆるものに内在する「超自然的な力」を感じ取り、それに対する畏敬を抱いていたことは明らかでしょう。この自然環境と人間の相互作用は、やがて縄文社会の規範や価値観の形成にも大きく影響したと考えられます。

文様に込められたこのような象徴性や物語性を読み解くことは、縄文人の世界観や思想に迫る手がかりともなりえます。それは、単なる装飾を超越した、自然と共振する深い意味の体系だったのではないのでしょうか。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

わが家のアイドル

掲載された方には**特製カード**をプレゼント！
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

詳しくは
こちら▶



QRコードから
簡単応募！▶



あら い しゅ な
新井 珠奈
ちゃん

令和5年12月10日生

可愛いポーズ
してたら
抱っこして
くれるかなー？



たか はし
高橋 ソフィア琉那
ちゃん

令和5年12月7日生

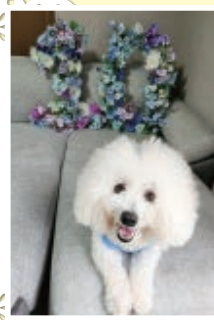
身体は小さくて
弱いけど、
食欲旺盛な
暴れ坊な
女の子！



あさ の
浅野 テイラー
くん

平成30年10月23日生

6才誕生日
おめでとう、
可愛いな
テイラーくん



いけ だ
池田 ムック
ちゃん

令和5年6月20日生

我が家の
末っ子です



くり はら
栗原 ざらめ
ちゃん

平成27年7月30日生

癒しの存在、
ざらめ先輩



よし だ
吉田 にこ
ちゃん

平成24年2月15日生

10歳のお
祝いをして
時の
写真です



UD FONT
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン
(UDフォント)を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
すづめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE



杉戸町
公式X